

#4 洪水から生活と住民を護る河川施設



岩淵水門：荒川洪水被害から首都圏を護る河川構造物

荒川には新旧2つの岩淵水門がある。洪水時には、現役の岩淵水門（青水門）の閉鎖により、全ての流量が荒川の下流部へ流れる。手前の旧岩淵水門（赤水門）は、現在、治水機能はなく歴史的建造物として保存されている。（注：写真左側が荒川で、写真右手前の新河岸川は、岩淵水門付近で隅田川となる）

（提供：国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所）



世界最大級の地下河川：首都圏外郭放水路（埼玉県東部地区）

地下50メートルに建設された首都圏外郭放水路は、埼玉県東部地区 中川・綾瀬川流域の水害を軽減する。この施設は、洪水の流入施設、地下調圧水槽、地下水路、排水機場等で構成されるが、特に、地下調圧水槽は貯水施設としても機能する巨大構造物で、その威容は21世紀に再現された地下神殿とも比喻される。

（提供：国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所）